

■位置図



■事業目的・概要

一般国道186号は、山陽・西中国山地・山陰を結ぶ広域幹線道路であり、沿線地域の観光周遊を促すだけでなく、第一次緊急輸送道路に指定されるなど、災害に強い道路ネットワーク構築にも資する重要な路線です。

しかし、当該事業区間においては、線形不良・幅員狭小な箇所があり、大型車等の円滑な通行が困難な状況にありました。

本事業により、現道拡幅・バイパス整備を実施することで、課題を解消し、安全で円滑な交通を確保しました。

■整備内容

- 事業箇所：広島県大竹市安条～大竹市油見
- 事業延長：4.0km
- 事業期間：昭和63年度～令和5年度
- 事業内容：バイパス整備及び現道拡幅
- 道路規格：3種2級
- 設計速度：50km/h
- 幅員：10.25m(2車線)

■改良前の状況

- ・幅員狭小区間があり、円滑な交通が困難
- ・歩道が未整備であり、歩行者の安全に課題



道路改良事業を実施し、幅員狭小区間及び歩道未整備区間を解消

大竹市中心部と廿日市市北部の歩行者の安全・安心のアクセス性強化 確保

～令和5年10月 穂仁原工区の完成により、一般国道186号御園バイパス道路改良事業が完了しました～



改良前



改良後

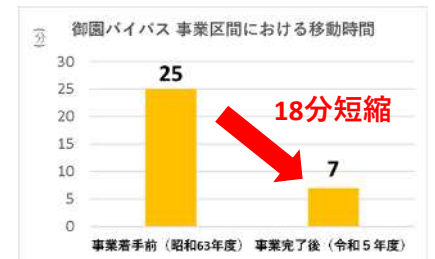


- ・2車線整備により円滑な交通を確保
- ・歩道整備により歩行者の安全を確保

・大竹市が「穂仁原水辺の広場」を整備  
⇒伝統文化の保存継承の場として活用し、地域活性化に期待

■事業効果

○本整備により、交通の円滑化、安全安心の確保、移動時間短縮が図られ、観光面や災害時等における様々な事業効果が期待される



- 第一次緊急輸送道路の機能強化が図られ、発災直後の速やかな応急活動に寄与
- 広域的な観光周遊を促し、沿線地域全体の活性化や賑わいづくりの形成に寄与